

4. 居宅介護支援事業所調査

目黒区 第10期介護保険事業計画基礎調査④

(むらさき色)

居宅介護支援事業所調査

次のいずれかの方法でご回答ください

郵送で回答



- ・ 調査票に直接ご記入いただき、同封した返信用封筒(切手不要)に入れて返送してください。
- ・ 回答は、黒のボールペンまたは鉛筆でお書きください。
- ・ 調査票および返信用封筒には、事業所名などは記入しないでください。

インターネットで回答(日本語のみ)



- ・ インターネット回線に接続したパソコン、スマートフォンから回答できます。
- ・ 下の URL をブラウザに直接入力するか、QRコードを読み取って回答サイトにお入りください。
- ・ 調査票ID及びパスワードを入力すると、回答することができます。

QRコード



端末の機種や設定により、QRコードが利用できない場合があります。

URL:<https://en.surece.co.jp/2025meguro4>

調査票ID:

パスワード:

※ 調査票IDとパスワードは無作為に配布しているため個々の事業所を特定するものではありません。
提出された回答がどの事業所の回答であるかは照合できません。

【ご回答期限】 令和7年11月14日(金)まで

※この調査についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<調査実施主体> 目黒区健康福祉部 介護保険課 介護保険計画係
電話 : 03-5722-9840 (月~金曜日 8:30~17:00)
(祝日を除く)
FAX : 03-5722-9716

1. 貴事業所の概要について

問1 貴事業所の開設年をお答えください。

(平成・令和) 該当する元号に○	_____年
---------------------	--------

問2 貴事業所の令和7年9月末現在の人員配置をご記入ください。

職 種	①勤務形態内訳 (人数を記入)		②年齢内訳(人数を記入)		
	常勤	非常勤	40歳以下	41～64歳	65歳以上
ア 主任介護支援専門員	人	人	人	人	人
イ 介護支援専門員	人	人	人	人	人
ウ その他 ()	人	人	人	人	人

※ウその他欄の()には、職種をご記入ください。(例:事務)

問3 常勤職員について、令和7年9月末現在、現事業所における勤続期間ごとの人数をご記入ください。

勤続期間 (人数を記入)	6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上
	人	人	人	人	人

問4 貴事業所で、1年間(令和6年10月1日から令和7年9月30日まで)に採用した人数及び離職した人数をお答えください。

	常勤		非常勤	
	男性	女性	男性	女性
①採用した人数(人数を記入)	人	人	人	人
②離職した人数(人数を記入)	人	人	人	人

2. 事業所運営における課題等について

問5 貴事業所では、令和6年度の収入額は、令和3年度に比べてどのように変化しましたか。(〇は1つ)

- 1. 大きく増えた
- 2. やや増えた
- 3. 横ばい
- 4. やや減った
- 5. 大きく減った

【問5で「1」「2」「4」「5」と回答した事業者におたずねします。】

→ 問5-1 収入額が増減した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 利用者人数の増減 | 4. 加算の取得・取下 |
| 2. 職員数の増減 | 5. 報酬改定の影響 |
| 3. 事業規模の拡大・縮小 | 6. その他(具体的に:) |

問6 令和6年度の貴事業所の収支はいかがでしたか。(〇は1つ)

- 1. 黒字だった
- 2. 赤字だった
- 3. 収支均衡

問7 今後の事業規模について、どのように考えていますか。(〇は1つ)

- 1. 現状維持
- 2. 拡大を検討
- 3. 縮小を検討
- 4. 休止・撤退を検討
- 5. 未定、わからない

【問7で「3」「4」と回答した事業者におたずねします。】

→ 問7-1 縮小、休止・撤退の理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 採算が取れない
- 2. ケアマネジャーの人材の確保が難しい
- 3. 利用者の確保が難しい
- 4. 制度改正の内容に対応できない
- 5. 経営側の都合・方針
- 6. その他(具体的に:)

問8 貴事業所では、職員の早期離職の防止や定着促進のため、どのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 賃金・労働時間等の労働条件の改善
2. 労働時間、業務内容の希望を考慮
3. 有給休暇の取得促進
4. 福利厚生・健康管理の充実
5. 子育て支援・介護者支援の充実
6. 研修等、人材育成の充実
7. キャリアパスの作成・実施
8. 社宅の提供や家賃補助の実施
9. 職場の設備や機器の充実
10. ICT化(情報通信技術活用)による業務の効率化・省力化
11. 職場内のコミュニケーションの円滑化
12. メンタルヘルス対策
13. ハラスメント対策
14. その他(具体的に:)
15. 特に行っていない

問9 貴事業所では、人材確保に向けてどのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 教育機関との連携を深めている
2. 事業所(又は法人)で一般向けの資格取得講座を開講し、修了者を採用している
3. 就職希望者の情報がより早く得られるように、職員や知人に声をかけている
4. 事業所(又は法人)独自の採用説明会を実施している
5. 事業所(又は法人)の存在を周知するために、定期的に有料の広告媒体を活用している
6. 有料の人材紹介会社を利用している
7. その他(具体的に:)

問10 貴事業所の運営にあたり、課題となっていることはありますか。
(○はいくつでも)

- 1. 新規利用者の獲得が困難
- 2. 人員不足などにより、利用者のニーズに対応できない
- 3. 利用者の重度化
- 4. 苦情や事故への対応
- 5. 職員の確保、離職対策
- 6. 職員の育成
- 7. 主任介護支援専門員の配置・更新
- 8. サービス提供事業者等との連携
- 9. 医療機関との連携
- 10. ICT化(情報通信技術活用)への対応
- 11. 介護報酬の低さ、採算性
- 12. その他(具体的に:)
- 13. 特にない

【問10で「2」「5」と回答した事業者におたずねします。】

→ 問10-1 人材不足に対する区からの支援として、最も充実すべきだと思う取組は何ですか。(○は1つ)

- 1. 人材マッチング事業(めぐろ福祉しごと相談会や有償ボランティアマッチング支援事業)の充実
- 2. 区独自の研修や研修受講費用補助の充実
- 3. 業務効率化に向けたICT機器等導入支援の充実
- 4. 福祉職場の魅力の発信強化
- 5. その他(具体的に:)
- 6. 特にない

3. ケアマネジメントについて

問11 令和7年9月の貴事業所の居宅介護サービス計画(ケアプラン)作成数をお答えください。※事業所全体の総数でお答えください。

居宅介護支援 _____件(うち、目黒区被保険者 _____件)
介護予防支援等の受託 _____件(うち、目黒区被保険者 _____件)

問12 貴事業所全体の、今後の居宅介護サービス計画(ケアプラン)作成数についてお答えください。(○は1つ)

1. 増やす予定 2. 減らす予定 3. 現状のまま

問13 貴事業所では、利用者の主治医との連携は十分にとれていますか。(○は1つ)

1. 十分に連携がとれている
2. 概ね連携がとれている
3. あまり連携がとれていない
4. 連携がとれていない

【問13で「3」「4」と回答した事業者におたずねします。】

→ 問13-1 連携が難しい理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 医師との関係ができていないために連絡がとりづらい
2. 医師と話すための知識が乏しい
3. 医師と連携する必要を感じていない
4. 医師にいつ連絡したらいいのかわからない
5. 医師が協力的でない
6. 医師が介護保険制度を理解していない
7. その他(具体的に:)

問14 貴事業所では、地域の団体や組織(民生・児童委員、町会・自治会、社会福祉協議会等)との関わりはありますか。(○はいくつでも)

1. 民生・児童委員 6. 商店、商店街
2. 町会・自治会・住区住民会議 7. ボランティア・NPO団体
3. 小・中学校、幼稚園、こども園、保育園 8. マンション・団地の管理組合
4. 竹の子クラブ(老人クラブ) 9. その他(具体的に:)
5. 社会福祉協議会 10. 特にな

問15 貴事業所では、居宅サービス計画(ケアプラン)の作成にあたり、介護保険外のサービスや地域活動などの資源をケアプランに組み入れていますか。(○は1つ)

1. 組み入れている
2. 一部は組み入れている
3. 組み入っていない(理由:)
- 問15-1にお進みください

【問15で「1」「2」(組み入れている)と回答した事業者におたずねします。】

問15-1 どのようなサービス・資源を組み入れていますか。(〇はいくつでも)

1. 配食サービス
2. 見守り・電話訪問など
3. 緊急通報システム・生活リズムセンサーなど
4. 介護保険外の生活支援
5. 介護保険外の通いの場
6. 趣味・学習などの地域のグループ活動
7. その他(具体的に: _____)

問16 ケアマネジャーの業務の中で、負担が大きいと感じることは何ですか。

(負担の大きい順に選択肢の番号(1~13)を3つまで回答してください。)

1. 利用者及び家族に対する説明・同意
2. アセスメントやモニタリングのための訪問・面接
3. サービス担当者会議の開催・調整
4. ケアプランの作成・交付
5. 支援記録の作成、給付管理等の事務処理
6. サービス事業所との連絡調整
7. 主治医や医療機関との連絡調整
8. 苦情、相談対応
9. 地域ケア会議やケアプラン点検等への参加
10. 休日・夜間の相談対応や緊急対応
11. ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごとへの対応
12. その他(_____)
13. 特にない

第1位 _____

第2位 _____

第3位 _____

【問19で「1. ある」と回答した事業者におたずねします。】

問19-1 どのような点で困難と感じましたか。(〇はいくつでも)

1. キーパーソンがいない
2. ご本人とご家族の考えが異なる
3. ご家族が協力的ではない
4. サービス利用の拒否がある
5. ご本人又はご家族から過度な要求がある
6. 提案したケアプランの内容に理解が得られない
7. ご本人又はご家族から暴力・暴言・ハラスメント行為がある
8. 利用者を受け入れるサービス提供事業者がみつからない
9. サービス費用の負担が困難なため、必要なサービスを入れられない
10. ご本人の介護とは別に、世帯に困難な事情がある
(家族のひきこもり、ヤングケアラー等)
11. その他(具体的に:)

【問19で「1. ある」と回答した事業者におたずねします。】

問19-2 困難事例への対応について、どこかに相談しましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 地域包括支援センター | 5. 弁護士などの専門家 |
| 2. 他の居宅介護支援事業所 | 6. 医療機関 |
| 3. 地域ケア会議 | 7. その他(具体的に) |
| 4. 行政機関 | 8. どこにも相談していない |

問20 貴事業所では、ケアマネジメントの質の向上のために講じている取組はありますか。(〇はいくつでも)

1. マニュアル等の作成
2. 事業所内での情報共有(定例会議、情報共有システム運用等)
3. 困難事例に関するケース検討会実施などの助言体制づくり
4. 各種研修、学習会・セミナーの実施や参加奨励
5. サービス事業所や区内の地域資源に関する情報収集
6. 他事業所との連携
7. 地域包括支援センターや区との連携
8. 利用者や家族に対する満足度調査、外部評価(第三者評価等)の活用
9. その他(具体的に:)
10. 特にない

4. 利用者の状況及び区の介護・福祉サービスについて

問21 貴事業所で現在担当する目黒区被保険者のうち、居宅サービスの利用のみでは在宅での生活の継続が困難であり、介護老人福祉施設又は認知症対応型共同生活介護への入所・入居をしないと生活の継続が困難だと思われるケースがありますか。(〇は1つ)

※施設への申し込みの有無にかかわらず、ご本人の状況からお答えください。

1. ある

2. ない

【問21で「1. ある」と回答した事業者におたずねします。】

→ 問21-1 当該利用者の施設への申し込み状況を教えてください。

※入所・入居の見込が立っているケースは除いてお答えください。

1. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)に申し込んでいるが、入所の見込は立っていない	件
2. 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)に申し込んでいるが、入居の見込は立っていない	件
3. 今後、施設等への入所・入居を申し込む予定	件
4. 経済的な理由により施設等への入所・入居は申し込んでいない	件
5. 本人・家族の意向により施設等への入所・入居は申し込んでいない(経済的な理由以外)	件
6. その他(具体的に:)	件

問22 居宅サービス計画(ケアプラン)の作成にあたって、目黒区で不足していると感じる介護サービスはありますか。(不足が大きいと感じる順に選択肢の番号(1～21)を3つまで回答してください。)

1. 訪問介護	7. 通所介護(地域密着型通所介護含む)
2. 訪問入浴介護	8. 通所リハビリテーション
3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9. 認知症対応型通所介護
4. 夜間対応型訪問介護	10. 居宅療養管理指導
5. 訪問看護	11. 福祉用具貸与
6. 訪問リハビリテーション	
12. 短期入所生活介護	14. 小規模多機能型居宅介護
13. 短期入所療養介護	15. 看護小規模多機能型居宅介護
16. 特定施設入居者生活介護	19. 介護老人保健施設
17. 認知症対応型共同生活介護	20. 介護医療院
18. 介護老人福祉施設	
21. 不足していると感じるサービスはない	

第1位 _____	第2位 _____	第3位 _____
-----------	-----------	-----------

問23 介護予防・日常生活支援総合事業について、ケアプランに組み込みにくい点がありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

【問23で「1. ある」と回答した事業者におたずねします。】

→問23-1 ケアプランに組み込みにくいのはどの点ですか。(○はいくつでも)

1. サービス供給している事業者が不足している 2. サービス内容に関する自身の知識が不足している 3. 必要とするサービス内容がない 4. 利用者や家族等がサービス提供を望まない 5. 費用面 6. その他(具体的に: _____)
--

問24 介護サービス以外で、今後充実が必要と思われるサービス・取組はありますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 金銭管理や各種手続きの代行 | 6. 訪問理美容サービス |
| 2. 見守りや安否確認 | 7. 通院・買い物などの外出同行 |
| 3. 配食サービス | 8. その他 |
| 4. ごみの訪問回収 | (具体的に:) |
| 5. 移送サービス | 9. 特にない |

問25 介護保険制度を高齢者の自立支援や重度化防止に寄与するものとするためには、どのような取組・工夫が必要だと思いませんか。ご自由にお書きください。

5. 災害対策について

問26 貴事業所は、自然災害や感染症の蔓延等の災害の発生を想定し、どのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 備蓄品の準備(食料、医療・衛生用品等) |
| 2. 法人内の他事業所との連携体制の構築 |
| 3. 災害対策設備・備品の充実 |
| 4. 災害時にも利用可能な通信手段の確保 |
| 5. 非常用の燃料・電力の確保 |
| 6. 地域との連携確保(例:地域の行事・防災訓練への参加など) |
| 7. 重要書類のデジタル化・クラウド保存 |
| 8. 職員の交通・移動手段の確保 |
| 9. 定期的な災害対応訓練 |
| 10. 職員への災害対応教育 |
| 11. 在宅勤務で対応可能な業務の洗い出し |
| 12. 自治体の公表するハザードマップの確認 |
| 13. 利用者の緊急連絡先の確認 |
| 14. その他(具体的に:) |

問27 貴事業所は、自然災害の発生後に、早期の事業復帰や事業継続が可能だと想定しますか。(〇は1つ)

1. 可能

2. 困難

【問27で「2. 困難」と回答した事業者におたずねします。】

問27-1 困難と考える主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 利用者数の減少による介護保険料収入の減
2. 食料や医療・衛生用品等の物資不足
3. 職員数不足
4. 通信インフラの長期停止
5. 交通インフラの長期停止
6. 上下水道、燃料・電力等のライフラインの長期停止
7. 利用者情報・ケアプランデータの喪失
8. ケアマネジメントに必要な利用者・家族とのコミュニケーション機会の不足
9. 事業所設備の損壊
10. その他(具体的に:)

【問28は区と「災害時における避難行動要支援者等の支援に関する協定」を締結していない事業者におたずねします。】

問28 協定を締結していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 協定のことを知らなかった
2. 災害時は、自分の事業所の利用者対応で精一杯である
3. 協定を締結すると、協力の義務や責任が発生しそうである
4. どのような協力ができるかわからない
5. 協力できないことがない
6. 手続きのしかたがわからない
7. その他(具体的に:)
8. 特にない

6. 区に対する要望について

【全事業所におたずねします。】

問29 貴事業所におけるサービスの質の向上のために、区からの支援が必要だと感じることはありますか。(〇は1つ)

1. 事業所向け研修の充実
2. 事業所が実施する研修への支援
3. 地域内の組織やボランティア等地域資源との連携強化のための支援
4. 医療機関など多職種連携強化のための支援
5. 支援困難者への対応とサポート
6. ケアマネジャーや事業所のための相談体制の充実
7. その他(具体的に:)
8. 特にない

問30 貴事業所が事業を運営する上で、区からの支援が必要だと感じることはありますか。(〇は3つまで)

1. 介護保険制度に関する情報の提供
2. 区の保健福祉施策・サービスに関する情報の提供
3. 事業所に関する広報やPRに対する支援
4. ICT機器や備品に対する支援
5. 介護事業者連絡会など事業者間の連携強化のための支援
6. 人材確保のための支援
7. 主任介護支援専門員等の資格取得支援
8. サービス利用者や家族の介護保険制度(サービス)の理解向上に向けた取組
9. 災害発生時の利用者の援護
10. その他(具体的に:)
11. 特にない

問31 区に対するご意見・ご提案がありましたらお書きください。

－質問は以上です。ご協力ありがとうございました。－